

開講年度：2026

科目名	救急・麻酔・外傷 Emergency medicine, anesthesia, & trauma	題目（副題）	救急医学、麻酔学、集中治療医学、外傷学		
担当教員、教員連絡先内線	今村 浩 他		6655		
学年、講義期間、曜日・時限	前期（随時）		月曜・1時限 月曜・2時限 月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 木曜・1時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・1時限 金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限		
単位数、講義室	1. 50単位	医学科第2講義室 オンライン授業（非同期型）		遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当				
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	授業達成目標	
	M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学, M22カリ・医学, M21カリ・医学				
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。		⇔	医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。周術期に生じる生理的变化と恒常性維持の重要性を習得する。	
	≪問題解決力≫患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。		⇔	多種多様な救急患者に対して適切な初期診療ができる能力を養う。全身麻酔と局所麻酔に関する基礎的知識を習得する。外傷に関する基本的知識を習得する。	
臨床実習前の到達目標	・ 講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・ 必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・ 適切な態度で診断治療を行うことができる。 ・ 良好な人間関係を築くことができる。 ・ 医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。 ・ 災害医療を説明できる。				
授業で学べる「テーマ」	健康長寿、防災減災				
全学横断特別教育プログラム					
授業のキーワード	救急医学、集中治療医学、災害医学、ショック、急性呼吸不全、外傷、急性脳障害、敗血症、侵襲、輸液・栄養管理、特殊感染症、急性中毒、環境障害、熱傷、小児救急、救急医療体制、褥瘡、重症軟部組織感染症、手外傷、手先天奇形、顔面・軟部組織損傷、麻酔科学、周術期医学、吸入麻酔、静脈麻酔、局所麻酔、区域麻酔、小児麻酔、産科麻酔、神経麻酔、心臓血管麻酔、周術期医療安全、疼痛管理、緩和ケア 実務経験のある教員による授業科目				
授業の概要・一般目標	A-3-1) 統合された知識、技能、態度に基づき、救急患者の全身を総合的に診療するための実践的能力を獲得する F-3-6) 緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。一次救命処置を実施できる。 F-1-5) ショック主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を説明できる。 D-6-4)-(1) 呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。 F-1-7) 意識障害・失神の原因、分類、診断と治療の概要を説明できる。 E-2-1) 敗血症の症候と診断と治療を説明できる。 F-1-20) 緊急性のある腹痛患者の診断と治療の概要を説明できる。 F-2-11) 重症患者の栄養療法と輸液療法について説明できる。 F-1-37) 外傷初期診療について説明できる。 E-5-1) 中毒と環境要因によって生じる疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を概説できる。 E-7-3) 小児救急患者の診断法と治療法における特徴を概説できる。 E-2-4) 特殊感染症の病態、診断と治療を説明できる。 F-2-5) 救急患者に対する各種画像診断と治療の適応について説明できる。 A-7-1) 災害医療について説明できる。 E-8-1) 褥瘡の成因と治療について説明できる。 F-1-37) 熱傷の受傷面積、重症度、治療について説明できる。 E-2-4) ガス壊疽、壊死性筋膜炎の診断、検査、治療について説明できる。 F-1-37) 顔面骨折、軟部組織損傷の診断、治療について説明できる。 F-1-37) 手指の外傷について診断と治療を説明できる。 E-7-1) 手指における先天異常について説明できる。 A-6-1) 安全性の確保について説明できる。 A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防を説明できる。 F-2-9) 外科的治療と周術期管理の基本を説明できる。 F-2-10) 全身麻酔（吸入麻酔、静脈麻酔）と局所麻酔の基本について説明できる。 F-2-10) 小児麻酔の基本について説明できる。 F-2-10) 産科麻酔の基本について説明できる。 F-2-10) 気道管理、筋生理と筋弛緩薬の薬理の基本について説明できる。 F-2-10) 心臓血管麻酔の基本について説明できる。 F-2-10) 神経麻酔の基本について説明できる。 F-2-10) 周術期の輸液・栄養の基本について説明できる。 F-2-10) 周術期の重症患者管理の基本について説明できる。 F-2-11) 食事・栄養療法・輸液療法の基本を説明できる。				

授業の概要・一般目標	F-2-16) 緩和ケアなどにおける痛み治療を説明できる。
テキスト, 教材, 参考書	日本救急医学会監修：標準救急医学、医学書院 標準形成外科学、医学書院 臨床麻酔科学書、中山書店
履修上の注意	
授業の形式, 視聴覚機器等の活用	授業の形式は下記の2種類に分かれます。 1. 対面式（救急①、⑥、⑦、⑫、⑬、⑮-⑰、麻酔①-⑭、外傷①-⑥） 2. オンデマンド型非同期オンライン形式（救急②-⑤、⑧-⑪、⑭）授業予定週の月曜日から視聴可能です。 救急①-⑰、外傷①②の授業は、動画または講義を視聴後、授業アンケートに答えることで出席の確認とします。アンケートのメ切りは授業日の週末日曜日です。わからなかったところ、疑問に感じた事項はアンケートに記入して下さい。重要な質問に対しては後日教官が回答します。
成績評価の方法	各講義内容から満遍なく出題する期末試験成績により決定します。60%以上を合格とします。 試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。
成績評価の基準	90－100点：秀 80－89点：優 70－79点：良 60－69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	レジュメをeALPSにアップしておくので事前に予習しておくこと。教科書の該当箇所を読んでおくこと。 授業アンケートの質問に対する回答にも重要事項が含まれ、試験に出題されることもあります。チェックしておいて下さい。 本授業の単位修得には14時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	質問担当者： 今村 浩 E-mail: imamura@shinshu-u.ac.jp 田中 聡 E-mail: s_tanaka@shinshu-u.ac.jp

授業日	第 1 回	5月 1日(金 1)	SB0s	A-3-1) ⑥緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。 F-2-9)-(2) ⑩集中治療室の役割を概説できる。 F-3-6)-(4) ①緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	救急① 救急・集中治療医学とは			
担当	今村 浩			
授業日	第 2 回	5月 1日(金 2)	SB0s	1. 麻酔科学とは何か説明できる。 2. 麻酔科学の始まりと現在までの歴史を説明できる。 3. バイタルサインとは何か説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔①麻酔科学総論とバイタルサイン			
担当	田中聡			
授業日	第 3 回	5月 1日(金 3)	SB0s	1. 吸入麻酔薬の作用について説明できる。 2. 吸入麻酔薬の導入、維持について説明できる。 3. 吸入麻酔薬の種類と特徴について説明できる。 4. 臨床における吸入麻酔薬の使用方法について説明できる。 5. 吸入麻酔薬のメカニズムについて説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔② 吸入麻酔薬			
担当	田中 聡			
授業日	第 4 回	5月 8日(金 1)	SB0s	F-1-6) ①心停止の原因と病態生理を説明できる。 ②心停止をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 ③心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 F-3-6)-(4) ②一次救命処置を実施できる。
講義室	オンライン授業(非同期型)			
GI0	救急② 心肺蘇生法			
担当	今村 浩			
授業日	第 5 回	5月 8日(金 2)	SB0s	F-1-5) ①ショックの原因と病態生理を説明できる。 ②ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 ③ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
講義室	オンライン授業(非同期型)			
GI0	救急③ ショック(1)			
担当	今村 浩			
授業日	第 6 回	5月 8日(金 3)	SB0s	1. 静脈麻酔薬の種類と作用について説明できる。 2. 鎮静作用を主とする静脈麻酔薬について説明できる。 3. 鎮痛作用を主とする静脈麻酔薬(オピオイド)について説明できる。 3. その他の静脈麻酔薬について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔③ 静脈麻酔			
担当	石田 高志			
授業日	第 7 回	5月 8日(金 4)	SB0s	1. 局所麻酔薬のメカニズムについて説明できる。 2. 局所麻酔薬の種類について説明できる。 3. 局所麻酔薬の作用と副作用について説明できる。 4. 代表的な区域麻酔方法について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔④局所麻酔・区域麻酔			
担当	石田公美子			
授業日	第 8 回	5月11日(月 4)	SB0s	1. 脳血流と麻酔について説明できる。 2. 脳圧上昇による影響について説明できる。 3. 脳代謝について説明できる。 4. 脳死状態について説明できる。 5. 各種麻酔薬と脳循環について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑤神経麻酔			
担当	田中 竜介			
授業日	第 9 回	5月11日(月 5)	SB0s	1. 小児の生理学的特徴について説明できる。 2. 小児の循環系の特徴を説明できる。 3. 小児の気道管理の特徴について説明できる。 4. 小児の麻酔と合併症について説明できる。 5. 小児の特殊な疾患について理解する。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑥小児麻酔			
担当	市野隆			
授業日	第 10 回	5月11日(月 6)	SB0s	F-1-5) ①ショックの原因と病態生理を説明できる。 ②ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 ③ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
講義室	オンライン授業(非同期型)			
GI0	救急④ ショック(2)			
担当	今村 浩			

授業日	第 11 回	5月12日(火 1)	SB0s	D-6-4)-(1)
講義室	オンライン授業 (非同期型)			①呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。
GI0	救急⑤ 急性呼吸不全と呼吸療法			②低酸素血症と高二酸化炭素血症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。 F-2-12)
担当	新田憲市			②呼吸療法に用いられる主な人工臓器の種類と原理を概説できる。
授業日	第 12 回	5月12日(火 2)	SB0s	-1-7)
講義室	医学科第2講義室			①意識障害・失神の原因と病態生理を説明できる。
GI0	救急⑥ 意識障害と神経救急			②意識障害・失神をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。
担当	嘉嶋勇一郎			③意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 B-2-1)
授業日	第 13 回	5月12日(火 3)	SB0s	1. 妊娠による循環・呼吸器系などの変化を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			2. 分娩時の各麻酔方法について説明できる。
GI0	麻酔⑦産科麻酔			3. 妊娠合併症について理解する。
担当	伊藤真理子			
授業日	第 14 回	5月14日(木 1)	SB0s	1. 痛みとは何かを説明できる。
講義室	医学科第2講義室			2. 痛みの分類を説明できる。
GI0	麻酔⑧疼痛管理・緩和医療			3. 痛みの治療方法を説明できる。
担当	石田公美子			4. 術後痛の特徴を説明できる。
				5. がんの痛みの特徴を説明できる。
				6. がんの痛みの治療について理解する。
授業日	第 15 回	5月14日(木 2)	SB0s	E-2-1)
講義室	医学科第2講義室			①敗血症の症候と診断と治療を説明できる。
GI0	救急⑦ 敗血症、侵襲と生体反応			C-4-4)
担当	嘉嶋勇一郎			③ショック（血流分布異常性ショック（敗血症性）を説明できる。
				⑤臓器不全（多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome <MODS>))を説明できる。
授業日	第 16 回	5月14日(木 3)	SB0s	F-1-37)
講義室	医学科第2講義室			①外傷・熱傷の病態生理を説明できる。
GI0	外傷① 重症外傷の初期評価			②外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。
担当	間田千晶			③外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明
授業日	第 17 回	5月15日(金 1)	SB0s	E-5-1)
講義室	オンライン授業 (非同期型)			①中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。
GI0	救急⑧ 中毒 (1)			E-5-3)-(1)
担当	高山浩史			②一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。
				③有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。
				④重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。
				⑤アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。
				⑥医薬品による中毒を説明できる。
授業日	第 18 回	5月15日(金 2)	SB0s	1. 気道の解剖・生理学的特徴について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			2. 麻酔下における気道管理について説明できる。
GI0	麻酔⑨気道管理			3. 呼吸生理と呼吸管理について理解する。
担当	丸山 友紀			
授業日	第 19 回	5月15日(金 3)	SB0s	F-1-37)
講義室	医学科第2講義室			①外傷・熱傷の病態生理を説明できる。
GI0	外傷② 重症外傷の急性期治療			②外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。
担当	間田千晶			③外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
授業日	第 20 回	5月15日(金 4)	SB0s	D-4-4)②関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			○関節痛、関節腫脹の原因、診断、病態生理を説明できる。
GI0	外傷③ 四肢の重度外傷			○関節の外傷、疾患の診断と治療を概説できる。
担当	宮岡俊輔			○開放骨折の分類、治療を説明できる。

授業日	第 21 回	5月18日(月 4)	SB0s	1. 麻酔科・周術期管理としての集中治療・全身管理の重要性を説明できる。 2. 重傷患者管理の治療戦略について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑩多臓器不全			
担当	飯田圭輔			
授業日	第 22 回	5月18日(月 5)	SB0s	D-4-4)⑩脊髄損傷の診断、治療を説明できる。 ○脊髄損傷患者の診断と初期治療から社会復帰/リハビリテーションについて時間経過をおって説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	外傷④ 脊髄損傷			
担当	上原将志			
授業日	第 23 回	5月18日(月 6)	SB0s	E-5-1) ①中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。 E-5-3)-(1) ②一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。 ③有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。 ④重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。 ⑤アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。 ⑥医薬品による中毒を説明できる。
講義室	オンライン授業（非同同期型）			
GI0	救急⑨ 中毒（2）			
担当	高山浩史			
授業日	第 24 回	5月19日(火 1)	SB0s	-5-3)-(2) ①高温による障害（熱中症）を説明できる。 ②寒冷による障害を説明できる。 ④気圧による障害の原因や対処を説明できる。 E-6-4) ①内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。 ②放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。
講義室	オンライン授業（非同同期型）			
GI0	救急⑩ 環境障害（1）			
担当	新田憲市			
授業日	第 25 回	5月19日(火 2)	SB0s	F-1-37) 外傷初期診療について説明できる。 ○骨盤骨折の診断と治療を概説できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	外傷⑤ 骨盤骨折			
担当	宮岡俊輔			
授業日	第 26 回	5月19日(火 3)	SB0s	E-8-1) ⑩高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。 褥瘡の成因と治療について説明できる。 F-1-37) ①外傷・熱傷の病態生理を説明できる。 ②外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。 ③外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 熱傷の病態、受傷面積、重症度、治療について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	外傷⑥ 熱傷・褥瘡			
担当	杠 俊介			
授業日	第 27 回	5月21日(木 1)	SB0s	E-5-3)-(2) ①高温による障害（熱中症）を説明できる。 ②寒冷による障害を説明できる。 ④気圧による障害の原因や対処を説明できる。 E-6-4) ①内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。 ②放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。
講義室	オンライン授業（非同同期型）			
GI0	救急⑪ 環境障害（2）			
担当	新田憲市			
授業日	第 28 回	5月21日(木 2)	SB0s	1. 輸液療法の基本的な考え方を説明できる。 2. 重症患者のエネルギー代謝を説明できる。 3. 重症患者の栄養管理を説明できる。 4. 経腸栄養と静脈栄養の利点欠点を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑪輸液と栄養			
担当	新井成明			
授業日	第 29 回	5月21日(木 3)	SB0s	1. 脱分局性筋弛緩薬の作用とメカニズムについて説明できる。 2. 非脱分局性筋弛緩薬の作用とメカニズムについて説明できる。 3. 非脱分局性筋弛緩薬の種類と特徴について説明できる。 4. 非脱分局性筋弛緩薬の効果のモニタリング方法について説明できる。 5. 脱分局性筋弛緩薬の副作用と予防について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑫筋生理と筋弛緩			
担当	布施谷 仁志			
授業日	第 30 回	5月21日(木 5)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	救急⑫ 異物・溺水・刺咬傷			
担当	問田千晶			

授業日	第 31 回	5月21日(木 6)	SB0s	F-1-20) ①腹痛の原因と病態生理を説明できる。 ②腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 ③腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 F-2-11) ②栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム(nutrition support team <NST>)、疾患別の栄養療法を説明できる。 ③各種補液製剤(ビタミン、微量元素を含む)の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。 ④経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	救急⑬	腹部救急、重症患者の輸液・栄養管理		
担当	三田篤義	(集中治療部)		
授業日	第 32 回	5月22日(金 1)	SB0s	E-2-4)-(2) ②A 群 β 溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 F-2-5) ②救急患者に対するエックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。 ⑤インターベンショナルラジオロジー(画像誘導下治療)を概説できる。
講義室	オンライン授業(非同期型)			
GI0	救急⑭	特殊感染症と救急画像診断		
担当	今村 浩			
授業日	第 33 回	5月22日(金 2)	SB0s	A-7-1) ⑥災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team <JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	救急⑮	災害医学(1)		
担当	問田千晶			
授業日	第 34 回	5月22日(金 3)	SB0s	A-7-1) ⑥災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team <JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	救急⑯	災害医学(2)		
担当	問田千晶			
授業日	第 35 回	5月26日(火 1)	SB0s	C-3-1) ③細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。 E-2-4) ②A 群 β 溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 ⑦Clostridium difficile 感染症の症候と診断と治療を説明できる。 ガス壊疽、壊死性筋膜炎の病態、診断、検査と治療について説明できる。 C-4-4) ①血行障害(阻血、虚血、充血、うっ血、出血)の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。 四肢の虚血肢に関する診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	外傷⑦	重症軟部組織感染症・重症虚血四肢		
担当	若林 奈央			
授業日	第 36 回	5月26日(火 2)	SB0s	F-1-37) ①顔面外傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 ②顔面の骨折、軟部組織損傷について診断、治療について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	外傷⑧	顔面軟部組織損傷・顔面骨折		
担当	重吉 佑亮			
授業日	第 37 回	5月26日(火 3)	SB0s	E-7-3) ⑥児童虐待を概説できる。 ⑦小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。 F-1-6) ①小児心停止の原因と病態生理を説明できる。 ③小児心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	救急⑰	小児救急医療		
担当	問田千晶			
授業日	第 38 回	6月 1日(月 1)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	休講			
担当				
授業日	第 39 回	6月 1日(月 2)	SB0s	1. 周期期の医療安全について説明できる。 2. 術前の評価、術中の危機管理について説明できる。 3. 術前のリスク評価、ASA分類、RCRI、NYHA分類、Hugh-Jones分類を説明できる。 4. 術中のモニタリングについて説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑬	麻酔・周期期における患者安全		
担当	蜜澤邦洋			
授業日	第 40 回	6月 1日(月 3)	SB0s	1. 循環管理について説明できる。 2. 循環モニターについて説明できる。 3. 循環作動薬について説明できる。 4. 心臓血管麻酔について説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	麻酔⑭	循環管理と心臓血管麻酔 授業のふりかえりを入力する		
担当	石田高志			

授業日	第 41 回 6月19日(金2～3)	SB0s	
講義室	旭総合講義室A B		
G10	期末試験		
担当	今村 浩, 高橋 淳, 田中 聡		